



火災による死者の9割が住宅火災で発生しています。



住宅火災から大切な命を守る!

平成29年中、火災で亡くなった65人のうち9割の59人が住宅火災によるものです。

死者が発生した住宅火災の主な出火原因として「たばこ」、「ストーブ」、「こんろ」があげられます。

住宅火災による死者の多くは高齢者です!

住宅火災による死者に占める高齢者の割合は7割以上で、主に高齢者の一人暮らしや高齢者だけの世帯で発生しています。



高齢者は、火災に気が付くのが遅れたり、避難に時間がかかることがあり、被害が大きくなる可能性が高く、特に注意が必要です。

※注:高齢者とは65歳以上の方をいいます。

死者が発生した住宅火災の主な出火原因

火災を防ぐためには、日頃からの心掛けが大切です!火災を防ぐポイントを確認して尊い命を守りましょう。

たばこによる火災

特徴

- 飲酒後の寝たばこ中に、たばこの火種が布団などに落下して出火しています。
- 吸殻をためるなどの不始末から出火しています。



たばこによる火災を防ぐポイント

- 寝たばこは、絶対にしない
- 飲酒→喫煙→うたた寝に注意
- 吸殻を灰皿にためない
- 吸殻は水で完全に消してから捨てる
- 火種を落とさないよう安全な場所で喫煙する

ストーブによる火災

特徴

- ストーブによる火災の多くが電気ストーブによるものです。
- ストーブの近くに燃えやすいものを置いたことで着火し、出火しています。



ストーブによる火災を防ぐポイント

- 周囲に燃えやすいものを置かない
- 外出時、就寝時は必ず消す
- ストーブの近くで洗濯物を乾かさない

電気ストーブ火災について中面で特集をしています。



こんろによる火災

特徴

- 火をつけたまま放置・忘れることで出火しています。
- 着ている服への着火により死者が発生し、特に高齢者の割合が高くなっています。



こんろによる火災を防ぐポイント

- 調理中に離れない
- 周囲に燃えやすいものを置かない
- 火が鍋底からはみ出さないように調節する
- 防災製品のエプロンやアームカバーを使用する
- 安全機能(Sセンサー)付きこんろを使用する